

国労東海貨物協議会第25回定期委員会開催

10月28日(金)14時から静岡交通ビルにおいて東海貨物協議会第25回定期委員会が開催され、当日は厳しい勤務の中にも関わらず、委員、役員、来賓及び傍聴者の28名が参加する中、「JR不採用事件の早期解決、国労運動の強化、労働条件改善、安全輸送の確立、組織強化・拡大」など、一年間における闘いの経過と向こう一年間の闘う方針の確立に向け、真剣な討論を行なってきました。

委員会は、井上副議長の司会で開会し、委員会議長に静岡総鉄の三須委員が選出され議事が進められました。

小原議長の挨拶では、東日本大震災で被災された方々に対し哀悼の意を表し、一年間の活動を総括した上で「JR不採用事件、国労運動の到達点及び今後の貨物協議会の取り組みについて、運転職場における要員問題など東海支社の現状、岳南鉄道を守る闘い、組織強化・拡大」などについて報告と決意が述べられました。来賓の東海本部上野書記長から「東海支社への年末手当3.5ヶ月の申し入れ、



(挨拶をする小原議長)

全面解決したJR不採用事件、原発問題、職場からの闘い」について、全貨協瓜田事務次長から「夏季手当闘いの報告、年末手当獲得に向けた取り組みの要請と趣旨説明、貨物会社が抱える問題点、分会活動の活性化」について、静岡地本植田書記長から、これまでの東海貨物協議会の取り組みに対する敬意が表明され「岳南鉄道問題の進捗状況及び貨物協と連携した取り組みの報告、浜岡原発再稼働問題」などの情勢や現状が報告されました。各来賓の共通した内容として、組織拡大は国労として最重要課題であり、その重大性を認識した加入への働き掛けの強化が訴えられました。交運共済東海事業本部今村本部長から「東日本大震災・台風を受け、火災・地震・風水害への加入強化の依頼、今後の共済活動の発展に向けて」の挨拶を受け、その後、加藤事務長より2010年度経過報告及び2011年度運動方針(案)が一括提案され、一般討論へと移りました。

討論では「年末手当満額獲得の闘い」「出向先の労働条件改善」「青年労働者の早期退職問題」「新人事・賃金制度の進捗状況」「効率化施策による人員削減問題」「運転職場の要員需給問題」「富士駅改良工事」「災害時におけるマニュアル及び体制の整備」「新規採用者の組合加入問題及び国労の対応」「組織強化・拡大」など、多数の委員から報告や質問・要望などが出されました。

本部、全貨協からの答弁及び加藤事務長からの全体集約を受け、満場一致で今年度の闘う方針を採択し、決算・予算の承認後、委員会宣言を採択、鈴木新議長による力強い『団結ガンバロー』の三唱で今後の奮闘を誓い合いました。



(東海貨物協鈴木新議長)

また、年末手当の闘いとして、貨物協全組合員による「ハガキ行動」の取り組みを確認するとともに、今委員会名で貨物会社社長宛に「年末手当満額獲得に向けた寄せ書き」を作成し、参加者全員の思いを記入しました。

その後場所を移した懇親会では、全国情勢等の質問や職場の問題など熱い議論で盛り上がり、更には組織拡大に奮闘することを誓い合い、全日程を無事終了しました。

安全問題・賃金問題・労働条件問題等、解決と改善が急がれる問題が山積していますが国労の旗の下、結集し団結し東海貨物協議会は鈴木議長を中心に運動と要求で闘いを展開し問題の解決に奮闘していきます。

今委員会で退任された小原前議長、1年間という短い期間でしたが大変お疲れ様でした。今後は岳南鉄道問題等で引き続きご指導頂きたく特別幹事としてご協力をお願いします。

<2011年度新役員>

議 長	鈴木和巳	51	沼津 駅
副 議 長	井上昭彦	49	静総・運転
	大金健治	47	稲沢機関区
事 務 長	加藤広明	48	稲沢機関区
幹 事	田中敏広	53	静総・運転
	堀江秀一	52	稲 沢 駅
	池田和義	51	出向・ロジ
	多賀 明	49	愛知機関区
特別幹事	小原 実	58	吉 原 駅
会計監査	平生広行	52	静総・運転
	井上 守	48	稲沢機関区

◇1年間よろしくお願ひします◇